

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成25年12月12日

施設名	森林研修センター情報交流館	所管課	林業環境政策課
-----	---------------	-----	---------

1 施設の概要

指定管理者名	情報交流館ネットワーク	指定期間	平成24年4月1日 ~ 平成27年3月31日
施設所在地	香美市土佐山田町大平80番地		
事業内容	(1) 情報交流館の施設の利用の許可等に関する業務 (2) 利用料金の徴収に関する業務 (3) 情報交流館の施設及び設備の維持管理に関する業務 (4) 情報交流館の利用促進に関する業務 (5) 前各号に掲げるもののほか、情報交流館の設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 情報交流館: 木造、平屋建、延床面積609.35㎡ 開館時間: 午前9時から午後5時まで 休館日: ①月曜日(その日が国民の休日に関する法律に規定する休日に当たるときは、その日後の直近の休日以外の日)、②休日の翌日(その日が日曜日又は休日に当たるときを除く。)、③12月29日から翌年の1月3日まで 主な利用料金: 1時間につき、研修室・木工室・企画展示室300円(370円)、シアター630円(780円)、(())は休館日		
職員体制	常勤職員: 3人	非常勤職員: 人	合計: 3人

2 収支の状況

単位: 千円

		平成23年度(決算)	平成24年度(決算)	平成25年度(予算)
収入	県支出金	14,307	14,500	14,500
	利用料収入	139	116	150
	参加料収入	2,416	2,521	1,680
	その他	19	79	0
	収入計 (a)	16,881	17,216	16,330
支出	事業費	2,233	2,405	1,720
	管理運営費	4,571	3,412	3,660
	人件費	9,858	10,499	10,950
	支出計 (b)	16,662	16,316	16,330
収支差額 (a) - (b)		219	900	0

3 利用状況

	平成23年度(実績)	平成24年度(実績)	平成25年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	11,043	10,856	11,000
②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況 ・出前授業、各種体験授業、ボランティア養成講座等の行事終了時に参加者及び指導者の方々にアンケートの提出を求めている。 ・受付にアンケート用紙を設置し、来館者にアンケートの提出を求めている。		
	○ その他 ・学校側と打ち合わせをするなど、利用者のねらいを把握し、適切なスタッフの割り振りや希望に沿うような形での活動内容の実践を心がけている。 ・感想文やアンケートを参考にし、改善すべき点は改善し、職員間で情報を共有することにより、より良いサービスの向上に努めている。 ・関係団体と連携して行う事業では、その都度改善点などを話しあって、よりよいサービスを提供できるように努めている。		
③その他特記事項			

4 平成24年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	・常勤職員は3名であるが、イベント時等はネットワークのボランティアや養成講座で育成したボランティアの応援体制もできている。 ・施設内もおおむね適正に管理され、来館者に対するパンフレットの配布や危険に対する注意喚起を行うなど、利用者の安全確保もできている。
②利用者サービスの維持向上	・事前の打ち合わせを行い学校側の要望を把握するとともに、学年・ニーズに合わせた内容でプログラムを実施するなど質の高い環境学習をコーディネートしている。 ・インターネットや紙媒体(情報誌・チラシ)、マスコミ(新聞・テレビ・ラジオ等)を利用してより広く情報発信している。また、出前授業の際に宣伝する等地道な広報活動にも努めている。 ・情報交流館で育成したボランティアが養成講座修了後、情報交流館での森林環境学習の指導に当たるとい流れをつくることで「県民参加の森づくり」に寄与している。 ・観光協会などの外部の団体と連携したイベントを行っていることは評価できる。
③利用実績	・年度事業回数は実施回数が339回と前年度の289回から増え、当初目標以上の実績件数となっている。しかし、入館者数は10,856人となり、23年度と比較して約200人減少した。
④収支の状況	・おおむね予算どおりに執行されており、木工クラフトの材料を極力自然の素材にすることによって材料購入を控えるなど経費削減にも努めている。
総合評価 (A~D4段階)	B ・限られた管理費で、おおむね適正な管理が行われている。 ・イベント、研修、広報等幅広くされていることがわかるが、情報発信の質を高め、親しみのある、固有の情報を発信していく事が今後求められる。 ・事業は十分な回数実施しているので、それぞれの「体験の質」を高めることに尽力していただきたい。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの